

**アクリル製フラッターを
採用したシンフルな構造**

プロジェクトはオーストリアのウィーンに拠を構え、アナログ系コンポーネントをメインに展開しているブランドだ。同社は社長であり設計者のハインツ・リヒテナッガー氏によって1985年に創立され、現在までに世界各国でシェアを拡大してきた。また、同社オリジナルのトーンアームなどは他社へも供給するなど、アナログ関連コンポーネントを扱うブランドとして確かな地位を確立している感がある。製造は隣国のチェコ共和国にある工場で行っているが、この工場は50年以上にわたりターンテーブルシステムを作り続けてきた歴史を誇っているという。

同社はマニライクな製品からエントリークラスの製品まで、数多くの製品を送り出しているが、先行する他社に比べはるかにリーズナブルな価格帯に抑えている点に好感が持てる。そして現在、同社は3ラインのアナログプレーヤーシステムを展開している。「デビュアリーライン」と呼ぶシンフルかつコンパクトなエントリークラス、そして同社オリジナル機である「Pro-Ject c.t.1」の後継機を擁する「クラシックライン」、そして高度なアナログファンを対象とするトップエンドの「RPMライン」という構成だ。今回、ここで紹介するのは「RPMライン」の代表的かつ中核的な存在といえるRPM9.1だ。

本機はフラッターとトーンアーム取り付け部だけを確保した必要最小限のサイズの

FIVE STARS

上級シリーズの中核機

Pro-Ject
RPM 9.1

アナログプレーヤー
¥304,500

FIVE STARS

上級シリーズの中核機



●駆動方式：ベルトドライブ方式 ●回転数：33.33/45.11rpm ●回転数偏差：±0.5% ●ワウフラッター：±0.06% ●SN比：-73dB以上 ●針圧可変範囲：10~30mN (1目盛り0.1g) ●トーンアーム寸法：230mm ●オーバーハング：18mm ●サイズ：500W×180H×300Dmm ●質量：12.5kg ●取り扱い：(株) ナスベック

analog 36